

事業所名: グループホームことひら

作成日: 平成 27 年 6 月 16 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35(13)	地域との連携がとれた災害時マニュアルの作成と昼夜を問わず安全に入居者様を避難誘導できる方法を全職員が身につけたい。	火災、災害時において地域の協力体制のもと、落ち着いて、安全に入居者様を避難誘導できるスキルを全職員が身につける。	①災害時マニュアル(土砂災害、火災)の作成を行い、全職員に周知、徹底する。②2ヶ月に1度避難訓練を行う(3月、5月、7月、9月、11月)。③備蓄品の再検討を行う。	24 ヶ月
2	1(1)	認知症ケアの拠り所となる「介護保険法」や「人員及び運営基準」の理解を深め、根拠に基づく理念の実践に繋げていきたい。	介護保険法の理解と認知症対応型共同生活介護の役割を知り、法令順守と介護の実践に活かすことができる。	①定期的な勉強会を実施する。②勉強会の成果を確認するためのアンケートを実施する。③個人面談を行う。④介護保険法第1条を施設内に掲示する。	12 ヶ月
3	36(14)	入居者様への丁寧な言葉使いをさらに気をつけると共に、心地よい声のトーンや羞恥心に配慮した声かけなどを行うことで、安心感や居心地のよさを提供したい。	丁寧な言葉を使うと共に、声かけ時、やさしい声のトーンで話しかける。また、羞恥心に配慮した排泄の声かけの仕方を検討し、実践する。	①接遇委員会の活動にて、勉強会や会議の報告等職員への働きかけを活発化する。②フロア会にて毎月言葉遣いや声かけにて上司や同僚から指導があった内容を職員間で報告し、共有する。③排泄の声かけの方法について話し合いをもつ。	12 ヶ月
4	49(18)	車椅子を利用する方の外出回数を増やしたい。また、ご家族と一緒に外出する行事を増やしたい。	今までお連れする事ができなかったところへ車椅子を利用する方をお連れする。梨狩り、温泉ツアーにご家族と一緒にいく。	①外出表を作成し、入居者様が平等に外出する機会を持つことができるようにする。②地域の運動会に車椅子の方を優先的にお連れする。③梨狩り、温泉ツアーの1ヶ月前にはご家族へ案内状を配布する。	12 ヶ月
5					ヶ月